

SCSI アレイコントローラカードGP5-148 ご使用前に

この度は、弊社のSCSI アレイコントローラカードをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本書は、本製品に添付されている「SCSIアレイコントローラカードGP5-148(AcceleRAID 352)取扱説明書」の記述を補足しております。本製品をご利用になる前に必ずお読みください。

2001 年 11 月 富士通株式会社

1 制限事項

1.1 メモリの搭載制限について

本製品に接続されたハードディスクに OS をインストールする場合(本製品から OS をブートする場合)、サーバ本体に搭載できるメモリ容量は最大 4GByte となります。

2 留意事項

2.1 EzAssist での RAID 構築について

EzAssist のメインメニューから、「Configure RAID Drive」を選択し、アレイ構成を作成する場合、「Automatic (自動設定)」、「Assisted(アシスト設定)」は使用しないでください(未サポートとなります)。アレイ構成を作成する場合、常に「Custom (カスタム設定)」をご使用ください。

2.2 ハードディスクのファームウェアアップグレードについて

2000 年 7 月以前にご購入されたハードディスクを本製品に接続する場合、本製品にてご使用いただく前にハードディスクのファームウェアアップグレードが必要になる場合があります。ご購入日が不明な場合、以下のような手順でハードディスクのファームウェア版数をご確認ください。

EzAssist メインメニューから、「Perform Administration on ...」、「Physical Device」を選択し、Vendor(ベンダ)、Model(モデル名)、Version(版数)欄に下記に該当するハードディスクが存在するかどうか確認してください。

□対象ハードディスク

Vendor: FUJITSU

Model: MAG3091MC, MAG3182MC, MAF3364MC

Version: 3006

一台でも対象ハードディスクが存在した場合、版数を 3006 版から 3009 版以降へアップグレードする必要があります。お手数ですが、弊社営業または担当保守員までご連絡ください。ご連絡の際、以下の管理番号(弊社保守員がアップグレード作業を行う上で必要な管理番号です)をお知らせください。

EC番号: 才技 - 資料 - 10 - 80763

2.3 Intel® LANDesk® Server Manager(LDSM)を使用する際の注意事項

■ バッテリー表示について

Intel® LANDesk® Server Manager(LDSM)の Mylex RAID Monitor から、「コントローラ情報」を参照した際、「バッテリー残量(%)」および、「バッテリー警告しきい値(%)」に、「Fail」と表示される場合がありますが問題ありません。なお、本製品にバッテリーは搭載されておりません。

■ GAM のアップデートに伴うLDSM/ServerVisor のアップデートについて

GAM を V4.03L10 以降にアップデートした場合、GAM のアップデート作業後に「Mylex RAID 監視機能追加ディスク」のバージョン L25A 以降を使用して LDSM/ServerVisor の Mylex RAID 監視機能を再度インストールする必要があります。「Mylex RAID 監視機能追加ディスク」のインストール手順については、添付の「Mylex RAID 監視機能追加ディスクをお使いになる前に」をご参照ください。

2.4 容量拡張について(EzAssist / GAM)

■ ハードディスクの選択時の注意事項 (EzAssist)

EzAssist にてフィジカルバックの容量拡張(Add Capacity to Existing Disk Array)を実行するにあたって、追加するハードディスクを選択した後に図 2-1 の画面が表示されることがあります。

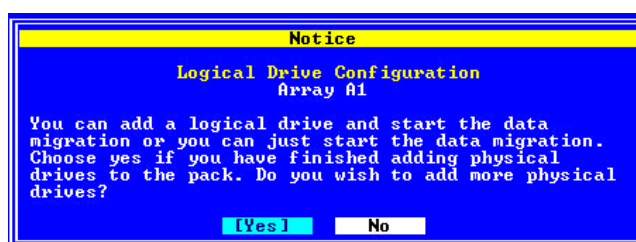


図 2-1

図 2-1 は追加可能なハードディスクがまだ余っていることを示していますが、ここでは必ず「No」を選択してください。「Yes」を選択してさらにディスクを追加した場合、容量拡張処理が実行されないことがあります。

■ ロジカルドライブ追加時の禁止事項 (EzAssist / GAM)

EzAssist / GAM において容量拡張をする際、ロジカルドライブの追加をせずに[Apply]を選択してください。ここでロジカルドライブの追加を行うと、正しく作成されない場合があります。ロジカルドライブの追加は、容量拡張実行後に GAM を使用して行ってください。追加の方法については、取扱説明書の「6.4.5 RAID Assist」を参照してください。

2.5 ローレベルフォーマットについて(EzAssist)

EzAssist でハードディスクをローレベルフォーマットする場合、ハードディスクのフォーマット実行中には、同じコントローラに接続されたハードディスクに対するフォーマット以外の操作は行わないでください。特にコントローラの切り替えやデバイスのリスキャンなどの操作は行わないでください。ハードディスクのフォーマットに失敗することがあります。必ずハードディスクのアクセス LED によりフォーマットが終了したことを確認してから、他の操作を行ってください。万一、フォーマットに失敗

した場合は、EzAssist を終了してサーバを再起動してから、再度フォーマットを行ってください。

2.6 GP5-186 の追加搭載について

本製品を使用しているサーバに、GP5-186 を追加搭載しないでください。本製品を使用しているサーバに GP5-186 を追加搭載した場合、本製品の認識ができなくなる場合があります。

2.7 イベントログ

起動時またはホットスワップ時に、接続されたハードディスクの台数分以下のログがイベントログのアプリケーションログに記録されますが、動作に問題ありません。

```
ソース:      gamevlog
分類:        なし
種類:        エラー
イベント ID: 1
説明:        Seq. No      : XX
              Event Code   : 28 (0x0000001c)
              Serverity     : Error
              Time          : DDD MMM DD HH:MM:SS YYYY
              Device        : ctl: x chn: y tgt: z
              Description    :
              Request Sense Data available.

              Cause         :
              A physical device reported an error.
              Firmware reported an operational error.

              Action        :
              Read the request sense data to understand
              the root cause.

              Additional Information :
              CC: 0x70
              Sense Key: 0x02 (Not Ready)
              Additional Sense: 0x04 0x02 (Logical unit not ready - manual
              intervention is required)
```

```
ソース:      gamevlog
分類:        なし
種類:        エラー
イベント ID: 1
説明:        Seq. No      : XX
              Event Code   : 28 (0x0000001c)
              Serverity     : Error
              Time          : DDD MMM DD HH:MM:SS YYYY
              Device        : ctl: x chn: y tgt: z
              Description    :
              Request Sense Data available.

              Cause         :
              A physical device reported an error.
              Firmware reported an operational error.

              Action        :
              Read the request sense data to understand
              the root cause.

              Additional Information :
              CC: 0x70
              Sense Key: 0x02 (Not Ready)
              Additional Sense: 0x04 0x01 (Logical unit not ready - initializing
              command is required)
```

3 GP5-148 複数枚搭載時における注意事項

3.1 概要

GP5-148 を追加搭載、または複数枚搭載する場合、ご使用のファームウェア、ドライバ、GAM を以下の版数にアップデートする必要があります。

	版数	FD/CD-ROM 版数	
ファームウェア BIOS EzAssist(BCU)	6.00-13 6.01-20 2.03-17	Firmware Update Disk	V6.00-13
Windows NT Driver	6.02-04	Windows NT Drivers Disk	V4.0L10
Windows 2000 Driver	6.02-04 (Digital Signature)	Windows 2000 Drivers Disk	V4.0L10
GAM Server	4.00-12	Global Array Manager (GAM)	V4.03L10
GAM Client	4.00-06	Global Array Manager (GAM)	V4.03L10

ここでは、その際に必要なドライバ、GAM のアップデート方法を記載しております。以下に示される手順に従ってアップデートを行ってください。アップデートは、以下の順に行います。

1. ファームウェアのアップデート

別冊の「GP5-148 ファームウェアアップデート手順書」を参照して、アップデートを行ってください。

2. ドライバのアップデート

本書に記載されている手順に従ってアップデートを行ってください。

3. GAM のアップデート

本書に記載されている手順に従ってアップデートを行ってください。

- ❗ ドライバ/GAM のアップデート作業を行う前に、確実にファームウェアのアップデートを行ってください。詳細に関しては、別冊「GP5-148 ファームウェアアップデート手順書」を参照してください。
- ❗ ファームウェア 6.00-51 は 6.00-13 よりも古いファームウェアです。ファームウェア 6.00-51 は GP5-148 の複数枚搭載をサポートしておりませんのでご注意ください。
- ❗ LDSM/ServerVisor を使用している場合、GAM のアップデート後に「Mylex RAID 監視機能追加ディスク L25A」以降を使用してアップデートする必要があります。詳しくは、添付の「Mylex RAID 監視機能追加ディスクをお使いになる前に」をご参照ください。

3.2 ドライバのアップデート (Windows NT)

- ❗ 本項で記されるアップデート手順を始める前に、確実にファームウェアのアップデートを完了しておいてください。

■ ドライバ版数の確認

以下の方法で、ドライバの版数を確認してください。

1. [スタート] メニューの [検索] から、[ファイルやフォルダ(F)] を選択してください。

2. [名前(N)] に「dac2nt4.sys」と入力し、[検索開始(I)] をクリックしてください。
3. dac2nt4.sys が見つかったら、dac2nt4.sys を右クリックし、[プロパティ(R)] を選択してください。
4. プロパティウィンドウの [バージョン情報] タブを選択してください。
5. ファイルバージョンが、6.02-04 となっていない場合、アップデートの必要があります。ファイルバージョンが、既に 6.02-04 である場合は、アップデートの必要はありません。

■ ドライバのアップデート

以下の手順でデバイスドライバをアップデートしてください。

1. Windows NT を起動してください。
2. Administrator でログインしてください。
3. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」を選択してください。
4. 「コントロールパネル」ウィンドウの SCSI アダプタアイコンをダブルクリックしてください。
5. 「SCSI アダプタ」ウィンドウの「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバ」タブ(図 3-1)を前面に表示させてください。

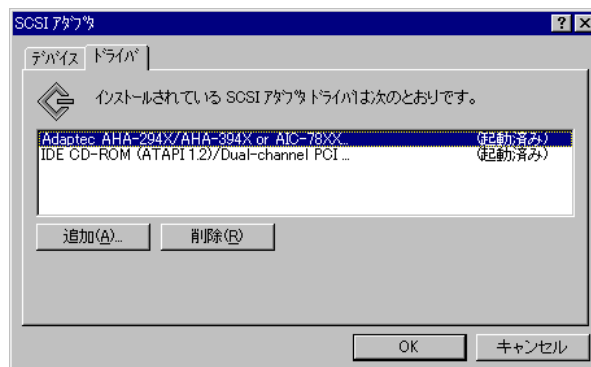


図3-1

6. 「追加」をクリックしてください。「ドライバのインストール」ウィンドウが表示されます。



図3-2

7. 「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。
8. 「GP5-147/148 Windows NT Drivers Disk」と書いてあるフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。

9. 「フロッピーディスクからインストール」ウィンドウで「配布ファイルのコピー元:」を「A:¥」に変更し、「OK」をクリックしてください。
10. 「ドライバのインストール」ウィンドウで、「Mylex EXR2000/3000 & AR160/170/352 Disk Array Controller」を選択し、「OK」をクリックしてください。
既に他のドライバがシステム内に存在する場合は、下に示すウィンドウが表示されます。新しいドライバをフロッピーディスクからインストールするために、「新しいドライバ」をクリックしてください。

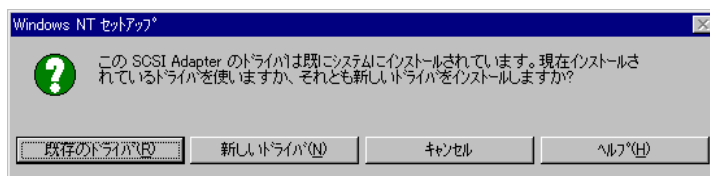


図3-3

11. ここで再び、パス名を「A:¥」に設定し「続行」をクリックしてください。

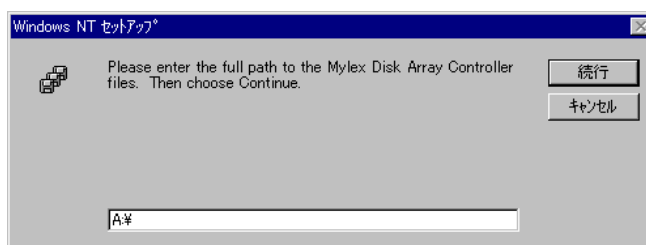


図3-4

ドライバがフロッピーディスクからコピーされます。「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。

12. フロッピーディスクをフロッピードライブから取り出し、「はい」をクリックして Windows NT を再起動させてください。

3.3 ドライバのアップデート (Windows 2000)

- ❗ 本項で記されるアップデート手順を始める前に、確実にファームウェアのアップデートを完了しておいてください。

■ ドライバ版数の確認

以下の方法で、ドライバの版数を確認してください。

1. [コントロールパネル] から [システム] を選択してください。
2. [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャ] をクリックしてください。
3. [SCSI と RAID コントローラ] をダブルクリックしてください。SCSI アダプタの一覧が表示されます。[Mylex AcceleRAID 352 Disk Array Controller] をダブルクリックしてください。
4. プロパティウィンドウが表示されたら、[ドライバ] タブを選択してください。
5. バージョンが、6.2.4.0 となっていない場合、アップデートの必要があります。バージョンが、既に 6.2.4.0 である場合は、アップデートの必要はありません。

■ ドライバのアップデート

本製品のデバイスドライバを「GP5-147/148 Windows 2000 Drivers Disk」内のデバイスドライバへアップデートする手順を説明します。

1. Administrator でログインしてください。
2. インストールを実行する前に、すべてのプログラムを終了してください。
3. 「コントロールパネル」から「システム」を実行してください。
4. 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックしてください。
5. 「SCSI と RAID コントローラ」をダブルクリックしてください。SCSI アダプタの一覧が表示されます。
 - ・ 「Mylex AcceleRAID 352 Disk Array Controller」
をダブルクリックしてください。
6. プロパティウィンドウが表示されたら、「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックしてください。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックしてください。
8. 「ディスク使用」をクリックし、フロッピーディスクドライブに「GP5-147/148 Windows 2000 Drivers Disk」を挿入してください。
9. 「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥」と入力して、「OK」をクリックしてください。
10. モデル欄からデバイスドライバを選択します。
 - ・ 「Mylex AcceleRAID 352 Disk Array Controller」
を選択し、「次へ」をクリックしてください。
11. 「次へ」をクリックすると、デバイスドライバのインストールが開始されます。

 デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行してください。

 デバイスドライバのインストールには時間がかかることがあります。
12. 「完了」をクリックし、「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウを閉じてください。
13. プロパティウィンドウの「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

 システム設定の変更」ウィンドウが表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。
14. サーバ本体に搭載されているすべての本製品について、手順 5～13 を繰り返してください。
15. すべてのドライバのアップデートが完了したら、システムを再起動してください。

-  システムの再起動後に再び「システム設定の変更」ウィンドウが表示されることがあります。
この場合は「はい」をクリックして、もう一度システムの再起動を行ってください。

3.4 GAM のアップデート (Windows NT/Windows 2000)

■ GAM 版数の確認

以下の方法で、GAM の版数を確認してください。

1. GAM を起動します。

2. メニューの [Help] から、[About Global Array Manager . . .] を選択してください。
3. Version 4.00-06 となっていない場合、アップデートの必要があります。既に Version 4.00-06 である場合は、アップデートの必要はありません。

■ GAM のアップデート

1. Administrator でログインしてください。
2. GAM をインストールする前に以下の準備をしてください。
 - ・ TCP/IP がインストールされていること、正しく機能することを確認してください。
 - ・ 「GP5-147/148 Global Array Manager(GAM)」と書かれた CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。
 - ・ 全てのプログラムを終了してください。

必ずインストールを実行する前に、全てのプログラムを終了してください。特に「イベントビューア」や「コンピュータの管理」を実行したままインストールを実施すると、正常にインストールされないことがあります。

3. 「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。
 - ・ Windows NT の場合: (CD-ROM ドライブ名):¥WINNT¥SETUP.EXE
 - ・ Windows 2000 の場合: (CD-ROM ドライブ名):¥WIN2K¥SETUP.EXE

上記パス名を入力し、「OK」をクリックしてください。「Global Array Manager Setup」インストール用ウィザードが起動します。

4. 「Welcome」というタイトルのウィンドウが表示されます。「Next」をクリックしてください。次に、「Software License Agreement」ウィンドウ(図 3-1)が表示されたら、「Yes」をクリックしてください。

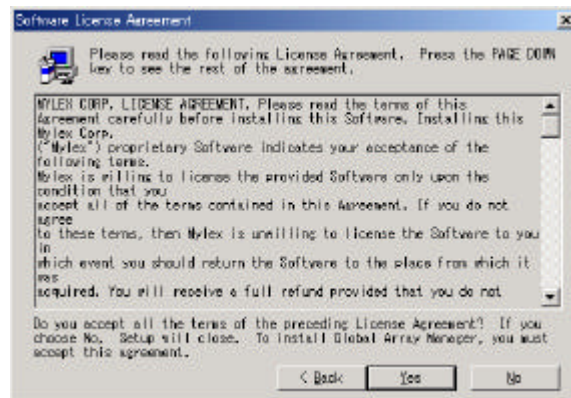


図3-1

5. 以下のような「Select Components」ウィンドウ(図 3-2)が表示されます。「Global Array Manager Server」および「Global Array Manager Client」の横にあるボックスがチェックされているか確認してください。また、「SANArray Manager Client」と「Workstation Array Manager」のチェックは外してください。

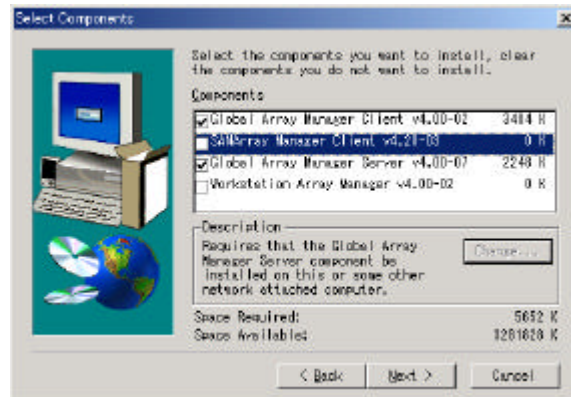


図3-2

- ❗ 「SANArray Manager Client」と「Workstation Array Manager」は未サポートです。インストールは行わないでください。
- 6. 「Global Array Manager Server」を選択し、「Change...」ボタンをクリックしてください。「Select Sub-components」画面が表示されます。「Driver」、「Program Files」、「DMI」にチェックを入れてください。また、「SNMP」のチェックは外します。選択を終えたら、「Continue」をクリックしてください。

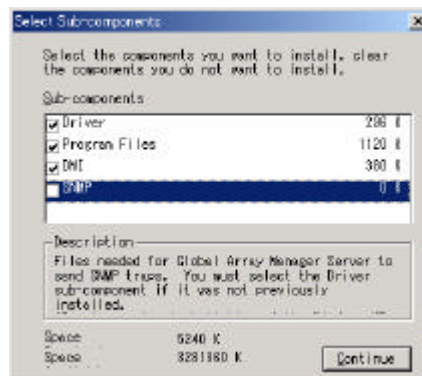


図3-3

- 7. 再び「Select Components」画面に戻ります。「Next」をクリックしてください。
- 👉 GAM Server が既にインストールされている場合には、上書きの確認のため「Warning」ウィンドウが表示されます。「OK」をクリックして続行してください。
- 👉 サーバに SNMP サービスがインストールされていない場合、「Setup has detected there is no 'SNMP Service' installed on your computer.」という警告が表示されることがあります。この場合、「OK」をクリックして作業を続行してください。
- 8. 「Choose Destination Folder」ウィンドウが表示されます。「Next」をクリックしてください。
- 👉 GAM が既にインストールされている場合には、既存フォルダに上書きするかどうか、確認のための「Warning」ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

9. 「Installation Summary」画面が表示されるので、インストール対象として選択したコンポーネント及びサブコンポーネントを確認し、「Next」をクリックしてください。ファイルのコピーが開始されます。
 - ・ GAM を新規にインストールした場合： 手順11に進んでください。
 - ・ 既に GAM がインストールされている場合： 手順10へ進んでください。
10. GAM を上書きインストールする場合、既存のGAM 設定ファイルの検出が行なわれ、以下の画面(図3-4)が表示されます。

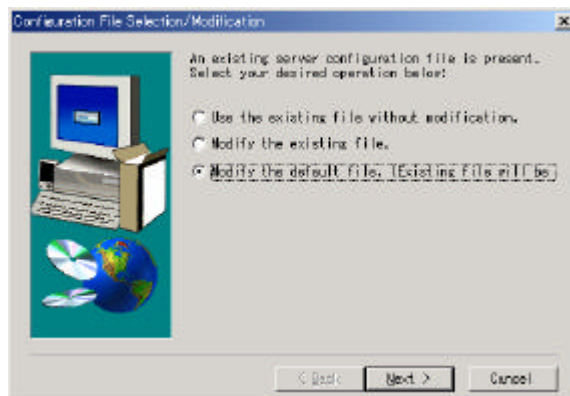


図3-4

「Modify the default file.」を選択して、「Next」をクリックしてください。

11. 「Enter Event Recipients」ウィンドウが表示されたら、テキストボックスに **localhost** と入力し、「Next」をクリックしてください。
12. 「Server Event Logging」画面が表示されます。「Enable event logging on the server machine」にチェックが付いていることを確認して「Next」をクリックしてください。

❗ このオプションには必ずチェックをつけてください。

13. 設定ファイルのフルパスを確認し「OK」を押してください。続いて「View Readme files」ウィンドウが表示されます。「Next」をクリックしてください。
14. 「Setup Complete」画面(図3-5)が表示されます。



図3-5

ここではサーバの再起動は行なわないでください。「No」を選択し、「Finish」をクリックしてください。

15. 「スタート」ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に (CD-ROM ドライブ名):¥inst.bat と入力し、「OK」をクリックしてください。

16. コマンドプロンプトが表示されたら[ENTER]キーを押してください。GAM の設定ファイルのコピーが開始されます。
17. 「Copy completed successfully.」と表示されたら、[ENTER]キーを押してください。
18. Windows NT または Windows 2000 のユーザアカウントとして、管理者権限用の「gamroot」というユーザアカウントと、ユーザ権限用の任意のユーザアカウント(例 :gamuser)を作成してください。「gamroot」は Administrators グループに所属するように設定してください。

 各ユーザアカウントは OS のユーザアカウントとして作成します。

Windows をドメインコントローラとしてご使用の場合は、GAM にログオンするユーザ権限用のユーザアカウントがサーバにローカルログオンできるように設定を行なってください。

19. システムを再起動したらGAM のインストールは完了です。

Microsoft、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
RAID EzAssist、Global Array Manager は、米国 Mylex 社の商標です。